

■第3回生田緑地ビジョン市民懇談会 グループワーク成果一覧

基本方針	施策の方向性	赤シール数	付箋数	関心を持った理由等	青シール数													
基本方針1 自然を守り、育む	(1) 生田緑地の自然を守り、育む	① 自然環境の保全・育成・活用に向けた取組の推進	15	14 緑地と文化施設との一体的管理運営の徹底 残された自然の質を下げない努力が必要です。 市民と行政の連携に前進しているが、行政は継続性を強めてほしい。しくみはまず、生田緑地の管理運営協議会と植生管理協議会との総合 地域住民を主とした環境教育プログラムを持ちたい。 市民と行政や各団体で協力して進めていってほしい。 子どもたちが身近に感じてもらう 将来的にみて 生田緑地植生管理協議会をベースに発展形として考えてほしい 子供に必要な環境教育の提供 生田緑地の自然を守る、緑を豊かにする ボランティアとして参加するが、ある程度の予算も確保して戴きたい 環境教育 学習ゾーン 自然観察会がワークシートで出来る工夫を考える 緑、桜、薔薇以外の四季のお花を咲かせて生活を楽しみたい。 市民の力と協働するなら、市民も決め事の話合いの輪に入れてね 無料労働力だと思って付き合うと失敗します Volunteerは自発的に 動く動機がなければ始まらない 方針の守る・残すという言葉←もう少し前向きな言葉を														
					② 自然環境の保全及び適正利用に向けたルールづくり	7	9 (1)-②、③の内容がだぶる 自然が気になる 自然環境の保全に目標とルールが必要 犬のフン、犬のエサやり、動物等々に対して有効な施策をお願いしたい 犬のフン⇒マナーの向上 ルール作りは必要 ルール作り、犬等連れてよいエリアと入れないエリアの区別等、ゾーニング別利用を推進してほしい 自然を守るため、ごみ箱をおいてみる 尾瀬みたいに持ちかえらせるほうがきれいになるのか？ ドッグランがあってもいいな	1										
								③ 里山の再生・充実	15	12 放置された里山状態から生きている里山に変更したい 里山が消えていく中で現状を何とか残していきたい 里山環境の再生・充実、数多くの保全団体を行政はよく知ることから、里山の再生・充実が大きく前進する 子供たちだけでなく大人も農業体験をできる仕組みを考えて欲しい (横浜小都の森的で近隣農系の方に指導者になってもらう)民家風の中に体験施設を設けることもひとつの方法ではないか タケノコの管理をして広く利用させてほしい。 生田の“里山”って何だろう？ イメージが違う 里山ボランティアの実体を行政はよく知ってほしい レンジャーの活用は以前は問題多し 生田緑地内に農業を体験し実りを楽しめる様にしたいです。 虫とり花つきはどこですればいいの？ 見るだけの自然ではつまらない 再生は急務 木々の下を自由に走り回れるような場所があるといい 小山田緑地だったかな 里山保全を徹底するボランティアなど募集に管理する	1							
											④ 農地や周辺樹林地との一体的な保全	5	5 孤立した緑地⇒さらなる分断化を進めないためにも周囲の農地や樹林地を含めた広域的なスケールで緑地を保全していく必要がある。 周辺樹林地との一体保全 周辺緑地の開発が止まりません、ぜひ一体としての景観の保持も含めて保全を 緑地周辺の開拓が気になる 例えば稲田登戸病院あとの利用 用地取得etc.の問題はあるが緑の連続線を守ってほしい バッファゾーン(向街地域)としての周辺農地としてだけでなく、農業体験の指導者(ソース)としての周辺農系との連携強化を是非進めて欲しい	3				
														(2) 生田緑地の多様な生物を守る	① 生物の生息・生育空間の保全・再生・創出	14	13 県内で生田緑地だけという生き物もいます 守ることは大切です 暗すぎて咲かない花もある、各その花に適した環境を作りだして欲しい ヤマユリなど 初山の水生植物園の再生 自然でない自然にならないように(補足・自己満足で自然でないものをつくらない) 生田緑地＝孤立した緑地⇒生物多様性を保全していく上でのホットスポットとなる 自然生態系を保全するには十分なスペースや長期ビジョンが必要 小川の景観を重視 生き残ってる在来の生物が生き続けられるように市民主体にある保全を支援する形の協働を進めてほしい	1

基本方針	施策の方向性	赤シール数	付箋数	関心を持った理由等	青シール数			
基本方針1				極力、緑地本来の自然になるよう、保全・再生に努める 自然環境を里山の形で保てば生物の保護にもなる 広域的スケールでの保全が必要 周辺に住むタヌキにごはんをあげたり、フェンスに四季の花を植えている人々へ助成を。 昆虫採取特区の創設「自然」とのふれあい	1 1			
				② エコロジカルネットワークの形成	5	4	多摩川や平瀬川等周辺の自然環境との連携が重要 川崎市全体の緑地の保全ができるのは素晴らしいので、もっとどこが主体でどういうネットワークになるのか詳しく知りたい 人材育成を含めた総合調整機能をもつネットワークづくりを念頭において欲しい 電気自転車の導入、川崎ゴルフ場より提供。東口ゲートから岡本太郎記念館まで	
				③ 身近な自然とのふれあいの確保	11	11	生田緑地コースなどの散策 自然は皆のものだから開放の自然と触れられるのが緑地だと思う 緑地内の樹木の名札が少ないので興味が半減する 小学生(幼児)にもっと生田緑地を訪れて親しむ機会を増やしてほしい。小学生対象のイベントも増やすとよいと思う 文化財でない民家を拠点にして、環境教育里山保全拠点をつくったらいいいですね。にわとり、ヤギとかもいるといい 樹名板 特徴的な樹木のみで良い 地元の小学校など、足元の緑をもっと知って欲しい 地域の小中学校(平中学・向丘小学校等)との連携、自然教育の場とする 遊園跡地のBゾーンに環境教育拠点を 樹名板が多いと景観がこわれるので最小限に まず知ることによって豊かな生活ができるのでは？	1 2
	(3) 自然環境を広く結び、つなげる	① 多摩川岸線軸や多摩・三浦丘陵を軸とする広域的な連携	1	1	all Kanagawaとしての自然再生の旗を高く掲げることによってmotivationが高まる			
	(4) 生田緑地の美しい景観を残す	① まちの骨格となる緑や、自然と人の調和した風景の保全・創出	4	3	観光資源としての景観の保全 旧稲田登戸病院跡地を生田緑地に極力取り込み、本来の植生になるよう緑を復活する 多摩川崖線軸の景観、大きな拠点での崖線軸の緑の保全を京都市並み(の規則)に	1 2		
			② 「農の風景」の保全と連携	3	2	後継者がいないので できるの？ 周辺農地を守ろう！増やそう！	1	
		(1) 施設の魅力を高める	① 文化施設(岡本太郎美術館、日本民家園、青少年科学館)等の魅力向上	17	23	施設を造る際に周りの環境を考慮 やはり生田緑地の中心施設なので、中心的役割を果たすべき 関心というより心配事「魅力向上」と一口に記しているが、現状課題を正確に公開した上で、しかるべき対応策をわかりやすく指示することが最も重要！（果たして魅力が向上する案が成立するのか？） 民家園コースNo11のところへ展望台を作る。中央公園が一望に見えるパノラマ 下見済み 日本民家園の価値はもっとPRしたい。貴重な文化資産の活用・増大を望む 岡本太郎美術館裏山のエスカレーター設置。中央地区・東地区内接続道路の整備により回遊バスの運行 協働のしくみ(継続していく) 足湯などの施設 岡本太郎美術館 子供を含め1日すごせるもの 岡本太郎美術館の見直し 今あるもの、施設を活用し、全体としての魅力 個性の強い美術館 公共の施設としてはふさわしいのか？ 施設の魅力を大切にしてほしい。個々に良い所がある。 展望台の展望を(栴形山)再生して欲しい。展望台の事も考えて、木を切るか上に伸ばす。 ゴルフ場クラブハウスをビジターセンターに改移しては？ 近代文化財として修復しながら 継続してきた協働が発展的に継続できるようにしてほしい 市民との協働の強化は是非必要であるが、単なる「ただの労働力提供」にならないように、主体者(市)からの適切なBackupと情報提供などの体系に基づき信頼関係を築くことが重要 話題作り 来年NHK大河ドラマ「江〜姫たちの戦国〜」とタイアップして民家園に誘致する。 歴史ブーム(女性) 開かれた施設づくり 施設の入場は、原則無料にできないか (市民・利用者として)施設の魅力や、改善策を考えたとき、それを聞いてくれて回答してもらえらる仕組みを作ってほしいので 文化施設の敷地は、極力現状にとどめながら、各施設の連携を深めつつ、それぞれの魅力を高めることに努めてほしい 羽田空港(日本民家園等へ)海外からの人入り (広報) 3階をつくるか、木を切るか 視野の確保 ・子供の生活体験 ・美術系の習い事教室 ・しかけづくり	1 1 1 1 2 1	

基本方針	施策の方向性	赤シール数	付箋数	関心を持った理由等	青シール数				
(2) 生田緑地の新たな魅力をつくる	② 施設間連携の向上	3	2	湧き水あり 観光地に足湯があるように、水質検査次第です。 これだけの施設を利用しないで帰る人がいるのはもったいない。丸一日過ごしてほしい					
	① 藤子・F・不二雄ミュージアムの整備	9	7	緑地とバラ園、不二雄ミュージアムの各アクセス 生田緑地の賑いを取り戻す施設として歓迎 無料シャトルバスの運営 藤子不二雄ミュージアムを活力がある施設に出来ないか(集客のポイントに) ・楽しい道(ロード) 藤子不二雄ミュージアムの整備の事 車で来ない様にPRをしてください (広報) ドラえもんは楽しみですが、近隣に迷惑を掛けない様にして下さい。 ドラえもんのキャラクターを配した道路	2				
				② 総合的な情報発信拠点の導入	5	7	羽田空港 海外からの誘客に向けた広報・PR わかりやすい(正確な)共通に利用される地図を 情報発信 見ごろの生きもの+野草名前⇒人と生きものの距離を短くする大切なプロセス 入る前に植物等の名前が確認できれば ビジターセンターを一元的サービスの窓口とする。 投書等も受け付けられる。 有効な広報メディアがない。(市民サイド)(緑地化・周辺施設) 意見に対する回答がほしい(フィードバック)		
	(3) 安全・安心・快適に利用する	① 公園施設等への計画的対応	21	18	この10年間向ヶ丘遊園跡地問題に取り組んできた。この地域のまちづくりにこの問題は大きな影響力を与える問題 遊園跡地の調査は、不満はあるが基本合意の線で止むか、事業ゾーンは景観を大切にしてほしい ゴルフ場クラブハウスのRenewal自体に疑問あり。緑地にとってマイナス面が大きい バラ苑への道を早く公道にして下さい。 緑地の案内所、遊園跡地の調整、周遊路など ・ゴルフの利益 公開されてない ・自転車に対しての配慮が足りない 施設の補充で自然資源をこわすのは如何? 緑地の魅力は何? 歴史遺跡の復元 遊園跡地Bゾーンには公的施設を! ←公共施設でなくていいから。 キャンプ場とか農園みたいなものとかを市から提案しませんか? アセットマネジメントには植生管理も忘れずに 緑地の魅力を大切にしたい上での利便性であって欲しい 快適性・利便性を求めるあまり、土の道の魅力などが消えるのは問題 飯室山⇒病院跡地経由のアクセス必要 北口を始点とする健脚コースの利用者上り<下り⇒帰路のみ 用地取得 魅力向上 健康保険を持参の人は割引とか?(無料を含めて) 向ヶ丘遊園跡地に住宅(グランドの方)はやめて、里山にしてほしい。 理由:家は似合わない! 遊園的な施設 坂が多い、使いやすい(歩きやすい)設備	1			
					② 緑化全体の快適性・利便性の向上	23	36	・小田急の駅をビジョンに合ったものに変える ・駅からの道を楽しいものにする 歩きづらい、怪我をする可能性 自然を楽しみながら安全に楽しめる生田緑地(舗装道を残す) ・緑地案内所の設置 ・食べる所の数量 緑地周遊路の整備 ・施設をすべて地下にする ・道は舗装しない ・電柱なし 屋上緑化は緑地とは言えない? 自然的な緑地帯 サイン→林道であるor林道でないorバリアフリーであるorバリアフリーでない など、人(利用者)が自分達のしたいことをできる。 案内図が間違えていたり、地点名が決まっていなかったりする。 交通のアクセス利便性のアナウンスは大切。同時に今年7月新設された向ヶ丘遊園駅管生線のバス路線は重要だが、環境にも配慮して、必要車両を除いた大型車は通行禁止にすべき サイン計画は緑地全体について統一されたもの、子供にもわかりやすいものが必要で是非推進して欲しい。ただし人的な巡回(自警団的なもの)是非必要だと思う。 かつて各エリアを結ぶ交通体系整備の構想があったと思うが、何かの巡回ルート案内というか電力自動車(ミニバス)・人力車等などの構想があっても良い(足の悪い人優先で) 向ヶ丘遊園駅管生線の道路とダイエーの所の信号の整備 園内の通路整備(県立公園との比較) ・シャトルバス等のルート運用による周回性の向上が必要 ・案内板、施設間アクセス 交通アクセス 駅をおりて場所をイメージできるサインがあれば良い バス開通後、大型車が通れない規制が必要 交通便よくなった→大型車多→環境保全→観バス等以外の通行禁止 ・全体としてのサイン ・地域の人たちとまわれるシステム(モルルール・人力車等)	2
									1
									1
									1
									1
									1
								1	

基本方針	施策の方向性	赤シール数	付箋数	関心を持った理由等	青シール数	
				施設内での交通網の充実 周路やサインが危険だったり、壊れていたとき、どこに知らせたらよいのか。わかりやすくなるとよいと思うので。 緑地内を子供だけで安全に歩けるように ・アクセス道路の交通渋滞解消 ・ダイエー横交差点に立橋の建設！ ・四方にアクセスできる歩道橋 歩道橋は使いづらくてよくない 道(〇〇の道)のメリハリ、施設のメリハリ(案内図等) 大型車の規制 生田緑地の全域を効率的に廻れるルートが必要 駅-施設 施設間のアクセス 自然が多い 施設の充実のしすぎ⇒影響は？ サイクリングロードつくるといいですね。 歩行者と住み分けを。 多摩川のサイクリングロードと連携して。 せめて川崎市民は入園料割引を！ ファミリー世帯にサービス悪すぎ!! 民家園で使うものを育てる畑を緑地内につくろう。 美術教育をもっと活発に！ 岡本太郎、アインツ・・・ 生田緑地をつきぬける道は運行台数を制約する交通マネジメント 民家の生活がわかる・かかわれる民家。文化財でなくていいので 園路にメリハリを バリアフリー・おもちゃの道・サイクリング・犬etc.	1	
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
基本方針3 効果的・効率的に管理・運営する	(1) 横断的に管理運営する	① 横断的な管理運営のしくみづくりと連携の強化	23	16	各施設の魅力を最大限に発揮するための「管理」と横並びに一元化として考えるのはおかしいと思うので 緑地全体を統合的に管理運営するためには、横断的組織を強化するべきである。 パークマネジメント 指定管理者制度は現状から後退しないようにしてほしい 緑地の目的も多く、関連施設も多い、横断的に管理する組織・人が必要。 車の出入り口のスムーズ化、人員で問題解決できる。 タテ割の良さがあったのではないか。サービスの欠けにつながらないか。 指定管理者制度導入に際して絶対に必要な条件は、発注者がきちんとした長期的視野を立案した上で具体的な契約内容を作成し、その内容をチェックする機関が必要である。 一体管理は必要と思う。効率的な管理は不用な出費をふせぐ。 事業や人のつながりにも大切。 施設間の連携を高め、緑地の良さも利用しながら多くの市民が楽しめるように！ 横断的管理は緑地運営として当然。 指定管理者制度で運営がうまくいくのか心配 中央公園周辺のトイレの数を多くする。 指定管理者制度 管理・運営・整備を別々な会社が一同に行う方法で考えられないでしょうか 自然と文化施設を一体的に管理運営する組織づくり 行政による3館管理体制の一体化 財産の視点で残す・切るという調査をするべき	1
					1	
					1	
					1	
					1	
	(2) 新たな活力を取り入れる	② 市民と行政の協働による運営管理のしくみづくり	15	11	生田緑地管理運営協議会がP.44の(仮称)生田緑地マネジメント会議の立場にあるが、十分機能していないため 近接住民の積極的登用 行政と市民の合意がある場合、予算や実行可能な状況を作れるのでしょうか 現在までの運営にどんな問題があったのか知りたい 市民と行政の協働 行政は市民と対等平等・相互尊重の関係性を重視してほしい 協働のプラットフォームは本当に活用できるのか疑問です。 協働できるようになるためには、全ての団体に顔が繋がっている(行政内御所・市民団体)専任のスタッフ(人間的に成立した)が必要 市民と行政の協働は最近の流行語？ お題目でなく、具体的な検討を！ 立場が違っても、同じ目的の人同士協力する 自然が保全され、市民が誇れる生田緑地とできるシステムにしてほしい 協働のプラットフォーム構築は大いに結構であるが、その意見が反映できる仕組(お手盛にならないように)が絶対条件である	1
					1	
					1	
					1	
					1	
(2) 新たな活力を取り入れる	① パークマネジメントの視点に基づく管理運営のしくみの導入	19	11	指定管理者制度 「パークマネジメント」の具体的構想が、明らかにされていないので不安だから 緑地の期待は多いが重点的効率的(効果的)に築く 民間活力の導入を是非！ 経済的なノウハウや、枠をこえた活動など民間のノウハウがカギになる 緑地が生み出すビジネスになる様 資金としてドラえもんを使った駅からの道路を ゲゲゲの鬼太郎の都市みたいに！ 管理者がよく変わることにならないか 現在の仕組みを活かすパークマネジメントが必要なのではないかと⇒全ての団体をまとめるコーディネーターの設置 パークマネジメントについても、発注者側に長期的視野に基づく戦略と、契約内容の具体性及びその内容をCheckできる仕組が絶対に必要である	1	

基本方針	施策の方向性		赤シール数	付箋数	関心を持った理由等	青シール数
					緑地を運営していく上で赤字にならない運営をするという視点でずっとまかせっきり、という状態ではない運営ができるようにする	
基本方針4 多様な主体の輪を広げる	(1) 協働のしくみをつくる	① 多様な主体が参加できる受け皿づくり	10	7	人間だけでは動物の声は聞けないだろうか 生田緑地の緑を生かし、人間や生物との共存を豊かにすること(動物)も含む 多様な主体が協働できる場所 調整機能を持つ所も含め ビジョンの構想は歓迎 問題点・コーディネーター、ビジョン策定委員会での検討に期待(いつも傍聴しています) 協働のプラットフォーム周辺のありとあらゆる団体が生田緑地についての共通理解・情報共有は一般的に賛成。しかし、既存の市民団体や緑保全との整合性をどうするのか大問題。誰がコーディネートするかで大きく左右される 協働プラットフォームを構築することで⇒参加者増 motivationup ネットワーク型のグループでの運営は必須。あくまでコアのプラットフォームが確固たる人材で固める必要あり。	1 1 1
		② 参加者を増やし育てるしくみづくり	2	2	育てるには充実感を味わうことのできる仕組みを！ “ムラ”を幾つかつুক্তりして、入れる仕組みを 参加型、市民参加 現⇒消防署まちかどパトロールの一員で、毎日緑地公園全体見て歩いております	
基本方針5 周辺と協力しあう	(1) 生田緑地と周辺地域が調和したまちづくりをめざす	① 生田緑地を活かした景観整備やまちづくり	10	12	防災拠点としての広場の活用 都心近くにこれだけ豊かな自然景観を有する公園施設は極めて優良なので、その価値を活かしてまちづくりにつなげて欲しい 周辺の緑地や田畑、川との連携した利用を促進できる仕掛けを 景観 多摩丘陵としてのすでに少なくなった貴重な景観は京都市なみの規制を 今の状態を維持してほしい 新規の施設整備時には防災機能を追加すべき 地域に開かれた施設を目指すべき⇒閉館性は施設をつぶす 防災 回避性向上に必要 北口/病院跡地の問題 生田緑地の景観を充分生かしてください 防災 生田緑地の中で防災公園としての整備は大変不十分、市の防災計画に合わせて考えるべき 備蓄・トイレ・防災ベンチ 景観の保持と整備 ボランティア団体との連携 備蓄等を含め防災機能の強化も必要かも	1 1
					(2) 人々を生田緑地に導く	① 交通拠点からのアクセス動線の快適性・利便性向上
		② 適切な誘導や回遊性を高めるサインの充実	7	7	緑地をイメージするサイン 訪れる場所へのワクワク感を感じさせる設備を サインー歩きやすい場所or歩きにくい場所などー利用者が行きたいところにいける。困らずに済むのではないかな。 駅前のInformation spotなどの設置と、アクセス路の統一に留意して欲しい(サイン計画を含めて) サイン 最近改善されてきたが、まだ不十分。更なる充実を望みます ・中央部と東部の回遊性に管生がある ・道路横断・住宅地⇒バラ苑 広場などに適切な名前をつける。初めて来ると迷う ・広い園路は乳母車なら楽に押して行ける1m位の中のコースを作って欲しい。 ・すべりやすい階段の一部を作りなおす	1
	(3) 生田緑地を活かしたにぎわいのあるまちづくりをめざす	① 経済的資源としての活用	10	9	近くにたくさんの大学がある＝学生がいる⇒地域に自身の役割をになう場所があるのではないかな⇒大切な経験(若い人にとって) 常に活用の可能性を考えていった方がよい 川崎以外にも目を向けて連携を考えて欲しい ex.専大・日本女子大・明大の他、横国大・神大・関東学園・桜美林などもある。 大学との連携は是非必要 経済資源・観光資源として、大学のゼミやサークル活動との連携 地元企業、地元学校との共同イベント開催推進 経済的資源として考えるのは多少無理がある様に思う。 地域活性化に活用するのは経済活動以外を考えたい 企業(コマーシャルイズム)よりも市民の活用 (3)-①のまちづくりの中で企業の内容を明確にしてほしい	1 1 1 1

基本方針	施策の方向性		赤シール数	付箋数	関心を持った理由等	青シール数
基本方針6 魅力を発信する	(1) 生田緑地の魅力を伝え、広げる	① 生田緑地及び周辺地域の一体的な情報発信	19	14	企業の連動を良くする事(外部から資金源を獲得する)	
					ビジターセンターの設置場所は駐車場ではなく、もう少し緑地内に入った元レストランのあった付近にした方がよい。	
					生きものの情報・名前を知る⇒自然と人の距離がとて近くなる＝情報提供は大事だと思います。	1
					ビジターセンター これから造られるセンターなので、そこですべてわかるセンターに	
		海外から来るにはホームページが一番見るので充実して下さい。羽田の国際化はチャンスです。				
		ホームページでのタイムリーな情報発信は重要。地域との連携にもつながる。				
		ホームページの充実 アクセスしやすい				
		統一したHP制作は大賛成、是非すぐにでも(試行版)やって欲しい。類似する都松園との交流と、そのリンクを貼ることも重要。				
		人気イベントは回数増やして楽しみやすいように！情報が得やすいようになるといい みんなが平等に利用				
		ホームページだけでなく、ペーパーの充実も大切。				
② 多くの人に訪れてもらうしくみづくり	7	7	“緑地に導く”以前に訪れてもらう意識を持つことが大切 ①と②の関連			
③ 利用者の声反映するしくみづくり	5	4	JR小田急・バス各社と協力した、人が訪れるしくみづくり			
			クチコミの力を活用、隣接住民を通信員に	1		
			映画・テレビ・雑誌・ラジオ等に対して、リニューアル完成時をメインに案内状を出す			
			緑地で活動する市民ボランティアの情報を発信できるように	2		
川崎市以外の市町村、学校等への情報を伝える						
まちづくり 駅周辺の店へ定期的に情報(ニュース)を発行 各店が発信基地とする						
利用者は多くの要望を持っている						
ビジターセンターで利用者からの要望を把握し、反映する						
ビジターセンターを訪れる市民間の交流の場に						
ビジターセンターと行政との関わりがスムーズにいくのか不安(意見が行政に届くのか) 返事はもらえるのか						
合計			299	280		63